

2025年7月2日（水） 10:05～10:25  
Innovate MUSEUM事業 成果報告会

# 世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 における出土品金属製品のデジタル台帳および検 索・閲覧システム構築による博物館DXの推進

福岡県人づくり・県民生活部文化振興課 世界遺産室  
正田 実知彦（SHODA MICHIIHIKO）

# 報告内容

---

1. 世界遺産の価値と課題
2. 事業目標
3. 事業内容
4. 事業成果と今後の展開

# 自己紹介

**正田 実知彦（しょうだ みちひこ）**

2012年 福岡県教育庁総務部文化財保護課 入庁。

（文化財専門技師・名勝担当）

2018年～

福岡県人づくり・県民生活部文化振興課 世界遺産室。

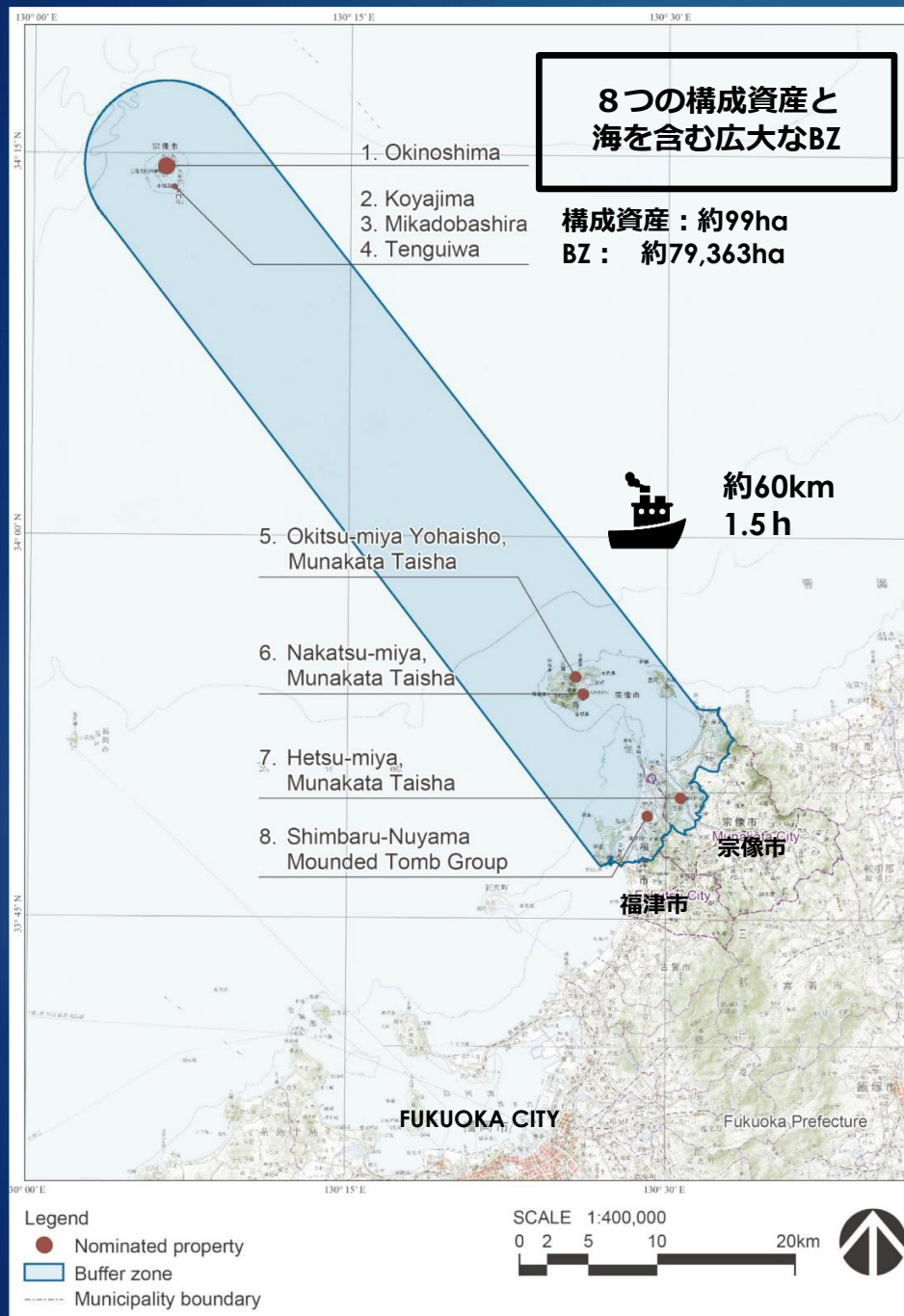
（「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 担当）



# 報告内容

---

1. 世界遺産の価値と課題
2. 事業目標
3. 事業内容
4. 事業成果と今後の展開



1. 沖ノ島
2. 小屋島
3. 御門柱
4. 天狗岩



5. 宗像大社 沖津宮  
遙拝所



6. 宗像大社 中津宮



7. 宗像大社 辺津宮



8. 新原・奴山古墳群

祭  
祀

遥  
拝

### 新原・奴山古墳群



沖ノ島で祭祀を行い、現在に続く「神宿る島」への信仰の伝統を育んだ古代豪族宗像氏の存在の物証。

### 宗像大社沖津宮 (沖ノ島、小屋島、御門柱、天狗岩)



4世紀から9世紀までの古代祭祀遺跡が現代まで守り伝えられてきた「神宿る島」を中核とし、田心姫神をまつる宗像大社三宮の一つ。

### 宗像大社 沖津宮遙拝所



大島の北岸に位置し、沖ノ島をご神体として遥拝する、生きた伝統を伝える信仰の場。

宗  
像  
三  
女  
神

### 宗像大社辺津宮



沖ノ島と共通する古代祭祀遺跡を起源とし、九州本土で市杵島姫神をまつる宗像大社三宮の一つ。

### 宗像大社中津宮



沖ノ島と共通する古代祭祀遺跡を起源とし、大島で湍津姫神をまつる宗像大社三宮の一つ。

## 8つの構成資産で 1つの物語を紡ぐ

### 宗像大社沖津宮

(沖ノ島、小屋島、御門柱、天狗岩)  
4世紀から9世紀までの古代祭祀遺跡が現代まで守り伝えられてきた「神宿る島」を中核とし、田心姫神をまつる宗像大社三宮の一つ。

### 宗像大社中津宮

沖ノ島と共通する古代祭祀遺跡を起源とし、大島で湍津姫神をまつる宗像大社三宮の一つ。

### 宗像大社辺津宮

沖ノ島と共通する古代祭祀遺跡を起源とし、九州本土で市杵島姫神をまつる宗像大社三宮の一つ。

### 宗像大社沖津宮遙拝所

大島の北岸に位置し、沖ノ島を御神体として遥拝する生きた伝統を伝える信仰の場。

### 新原・奴山古墳群

沖ノ島で祭祀を行い、現在に続く「神宿る島」への信仰の伝統を育んだ古代豪族宗像氏の存在の物証。

# ■ 世界遺産の価値

## － どうして世界遺産になったのか？

### ポイント1（世界遺産評価基準（ii）：価値観の交流）

- ▶ 古代の東アジアの国々が、海を介して活発に交流していたことを伝える宝物が、沖ノ島でたくさん見つかったから。
- 時代も重要！
  - ・ 沖ノ島の祭祀は4世紀後半～9世紀末の500年間（古墳時代～平安時代）。
  - ・ 大和政権による日本統一、漢字や仏教の伝来など、対外交流によって得た知識等により日本の礎が築かれた時代。



# 古代東アジア国家間の交流を示す出土品

金製指輪（新羅製）



↑ 慶州出土品

カットグラス碗片（イラン製）



危険な海を越えて対外  
交流を行った古代の  
人々が神に捧げた貴重  
な品々

金銅製馬具（新羅製）



金銅製帯金具



金銅製歩揺付雲珠



金銅製杏葉

# 世界遺産の価値

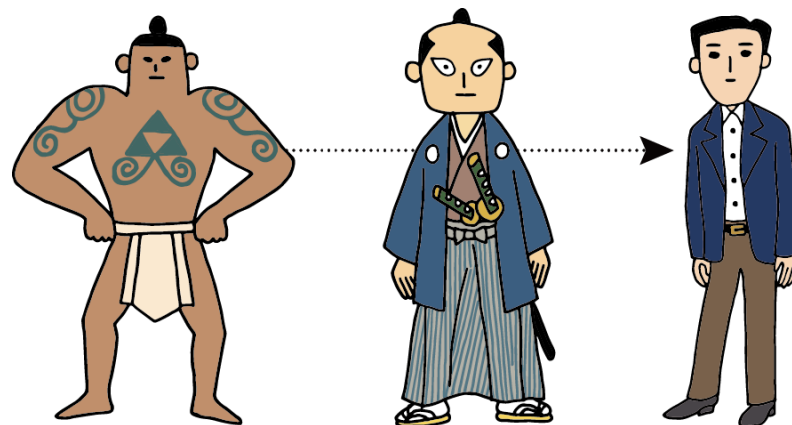
## － どうして世界遺産になったのか？

### ポイント2（世界遺産評価基準（iii）：文化的伝統）

- ▶ 沖ノ島への信仰が、約1600年前から現在まで継続しているから。

沖ノ島で発見された遺跡は、驚くべきことに、そのほとんどが無傷の状態で見つかりました。それは、「神宿る島」宗像を信仰するという伝統が、宗像大社（沖津宮、中津宮、辺津宮）における宗像三女神への信仰として、現在まで大切に守り、受け継がれてきたからです。

“遺産”というと、「むかしのもの」というイメージがあるけど、宗像大社へおまいりする現代人も世界遺産の価値の一部。



## 8つの構成資産と 海を含む広大なBZ

構成資産：約99ha  
BZ：約79,363ha

1. Okinoshima
2. Koyajima
3. Mikadobashira
4. Tenguwa

5. Okitsu-miya Yohaisho,  
Munakata Taisha

6. Nakatsu-miya,  
Munakata Taisha

7. Hetsu-miya,  
Munakata Taisha

8. Shimbaru-Nuyama  
Mounded Tomb Group



約60km  
1.5h

FUKUOKA CITY

Fukuoka Prefecture

### Legend

- Nominated property
- Buffer zone
- Municipality boundary

SCALE 1:400,000

0 2 5 10 20km



## 価値の中心



1. 沖ノ島
2. 小屋島
3. 御門柱
4. 天狗岩



5. 宗像大社 沖津宮  
遙拝所



6. 宗像大社 中津宮



7. 宗像大社 辺津宮



8. 新原・奴山古墳群



海上から望む沖ノ島



命がけで航海していたんだな。

すごい自然！すごい巨岩！

この巨岩に神が宿ると考えていたのか。

いまでもここで、祭祀が行われているなんて！

## 8つの構成資産と 海を含む広大なBZ

構成資産：約99ha  
BZ：約79,363ha

1. Okinoshima
2. Koyajima
3. Mikadobashira
4. Tenguwa

5. Okitsu-miya Yohaisho,  
Munakata Taisha

6. Nakatsu-miya,  
Munakata Taisha

7. Hetsu-miya,  
Munakata Taisha

8. Shimbaru-Nuyama  
Mounded Tomb Group



約60km  
1.5h

FUKUOKA CITY

Fukuoka Prefecture

### Legend

- Nominated property
- Buffer zone
- Municipality boundary

SCALE 1:400,000

0 2 5 10 20km



## 価値の中心

# 行けない

1. 沖ノ島
2. 小屋島
3. 御門柱
4. 天狗岩



5. 宗像大社 沖津宮  
遙拝所



6. 宗像大社 中津宮



7. 宗像大社 辺津宮



8. 新原・奴山古墳群

- 世界遺産の価値の中心は、「沖ノ島」。
- ただし、沖ノ島に行くことはできない。



価値を伝えるためには、博物館・ガイダンス施設における展示・解説が不可欠。



- 博物館・ガイダンス施設が分散して存在。
- 設置者も異なり、学芸員の所属も異なる。

## 構成資産



宗像大社沖津宮



宗像大社沖津宮遙拝所



宗像大社中津宮



宗像大社辺津宮



新原・奴山古墳群

## ガイダンス施設



海の道むなかた館



大島交流館



宗像大社神宝館



福津市歴史資料館

## 世界遺産の価値



## 大島の歴史文化



## 信仰と神宝



## 古墳の価値



宗像市

宗像大社

福津市

## 保存管理

- 8万点を越える膨大な沖ノ島出土品のうち、報告書に掲載されているものは一部に留まる。
- 未指定品の中には未整理のものがある。
- 発掘調査及び重文指定から60年以上が経過し、修理履歴を追えないものがある。
- 特に金属製品は、経年劣化によるき損が危惧される。

## 公開活用

- 沖ノ島出土品は国宝であり信仰の証でもあるため、資料の取扱には十分な注意が必要である。
- 神宝館の展示替えは年2回。調査研究成果をスピーディーに発信することができない。

## 体制

- 様々な課題に対応するための体制が十分ではなく、所有者だけの力だけでは対応できない。

# 報告内容

---

1. 世界遺産の価値と課題
2. 事業目標
3. 事業内容
4. 事業成果と今後の展開

## 1. 横断的な連携体制の構築

単独の施設および管理者（学芸員）では対応が困難な、膨大な量の出土品の保存管理、調査研究、公開活用について、ウェブサイトやクラウドサービス等を活用した閲覧・検索・ダウンロード等が可能な管理台帳を制作し、関係者および外部有識者が共有することで、横断的な連携体制を構築する。

## 2. 国際的な調査研究の機会提供及び発信

本事業の調査成果については、将来的に多言語にすることで、国内にとどまらず、海外に向けた調査研究の輪を広げる。

## 3. 新たな価値の探求、発信

半世紀以上前に発掘がされ、劣化によるき損が危惧される出土品について、最先端の調査分析を行うことで、修理・修復事業の適切な順番を定める。あわせて、本来の価値を明らかにした上でデジタル化することによって、その価値を早く広く効果的に伝える。

# 報告内容

---

1. 世界遺産の価値と課題
2. 事業目標
3. 事業内容
4. 事業結果と今後の展開

## DX化のプロセス



多様化・高度化する博物館への  
期待に応えていく

デジタル  
トランスフォーメーション

博物館活動・サービスの変革、  
新しい価値創造

デジタルライゼーション

業務プロセス(保存管理、研究、  
教育、学習、活用)のデジタル化

デジタイゼーション

資料や活動など  
情報のデジタル化

DXの実現とそのプロセス

出典：文化庁（2025）ミュージアムDX実践ガイド



デジタル資料を活用した国際的・学際的な調査研究による  
新しい価値の発見・発信



デジタル台帳化による横断的  
な連携体制の構築



金属製品4200点のX線撮影・  
デジタル化

### 調査・デジタル化



宗像大社神宝館におけるX線透過撮影



専門家による撮影データの調査・検討

### 共有・体制構築



デジタル台帳管理システムの構築  
マニュアル作成・研修会の実施

### 公開

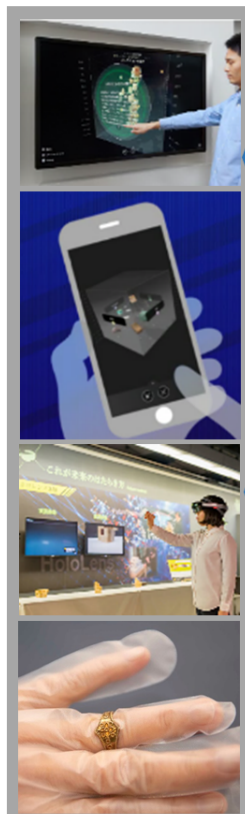


MUNAKATA ARCHIVESでの公開

## 実施体制

- 世界遺産ガイダンスである海の道むなかた館を「中核館」とした「連携5館」（宗像大社神宝館・大島交流館・福津市歴史資料館・九州国立博物館・九州歴史資料館）で事業を実施。

ハード整備への展開  
(令和7年度以降)



### 中核施設 事業推進の拠点施設

●海の道むなかた館  
(世界遺産全体の解説)



- ・遺産群のガイダンス施設の中核的な役割を担う。
- ・市内関連史跡の出土物の管理・公開。
- ・事業内容の協議に当該施設で原則行っていく。(協議会構成員)
- ・将来的には中核館である海の道むなかた館にて、デジタルサイネージ等による公開活用を行う予定。

文化財職員  
(協議会構成員)

文化財職員  
(協議会構成員)

凡例

- 世界遺産構成資産
- 中核施設
- 中核施設に準ずる施設
- 連携施設

●大島交流館



沖ノ島信仰  
の解説や出  
土品レプリ  
カ展示等

●新原・奴山古墳群  
●福津市歴史資料館  
(新原・奴山古墳群の展示)



新原・奴山古墳群

福津市歴史資料館

出土遺物の  
管理・公開

文化財職員  
(協議会構成員)

●九州国立博物館  
●九州歴史資料館  
文化財職員・学芸員  
(福岡県職員)

指導・助言  
公開活用の連携

### 申請事業者 「神宿る島」宗像・沖ノ島と 関連遺産群保存活用協議会

- 構成員：福岡県・宗像市・福津市・宗像大社
- 設置目的：遺産群の構成資産の保存、周辺環境の保全、公開活用

管理者 文化財 事務経理  
職員 担当

福岡県職員(代表事務職員)

制作・管理運営

### 宗像大社

●沖ノ島(宗像大社沖津宮)  
(世界遺産・国指定史跡)



沖津宮(原則非公開)

●宗像大社沖津宮遙拝所  
●宗像大社中津宮  
(世界遺産・国指定史跡)



沖津宮遙拝所 御嶽山祭祀遺跡

●宗像大社辺津宮  
(世界遺産・国指定史跡)  
●宗像大社神宝館



下高宮祭祀遺跡 辺津宮

学芸員  
(協議会構成員)

●宗像大社神宝館  
(沖ノ島出土品の展示解説)

### 申請事業の成果

- ①先端技術(X線透過撮影)による出土金属製品の分析
- ②金属製品のデジタル台帳
- ③デジタル台帳検索システム
- ④一般公開用デジタル台帳
- ⑤デジタル台帳運用マニュアル

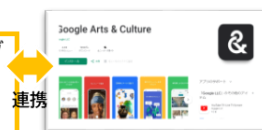


デジタル台帳イメージ

既存のデジタルアーカイブ



むなかたアーカイブ



Google Arts&Culture掲載(予定)



一般公開 一般の方

九州大学 東京国立博物館  
奈良県立橿原考古学研究所 鹿児島大学  
外部の有識者等

共同研究

調査研究  
成果等の  
タイムリーな共有

多言語化し、海外への研究の輪を広げていく(令和7年度以降)

## (1) X線透過撮影

### ① X線透過撮影対象の選定

特に劣化が危惧されている国宝沖ノ島出土品の金属製品のうち、保存台にテグスで固定されている資料約4,200点及び宗像市・福津市で出土した金属製品を対象として選定した。

### ② 調査計画の作成（機材設置の方法・スケジュール等）

宗像大社と元興寺文化財研究所および福岡県で協議を行い、膨大な撮影を効率的かつ安全に撮影する観点から、国宝の移動距離を最小限に押さえるため、撮影場所を収蔵庫内とした。

### ③ 宗像大社神宝館における撮影機材の設置

### ④ 宗像大社神宝館におけるX線透過撮影

X線撮影はテグスで保存台に固定されている資料については一括で撮影し、X線撮影台の大きさに収まらない資料は分割で撮影を行った。撮影は、福岡県・宗像市・福津市・宗像大社の文化財担当職員や学芸員が関わって実施。

### ⑤ 画像調整・画像の資料ごとの個別化

X線画像データの画像調整を行った後、JPEGデータを保存。一括撮影資料は、個別資料ごとにデータ分割を行った。

### ⑥ 資料ごとのデータ作成

資料の名称、JPEG画像、撮影条件、所見等を一覧表にまとめ、金属製品台帳格納データを作成。

### ⑦ 専門家による撮影データの調査・検討会の開催

4名の専門家を招聘して出土品調査を実施、実物とX線撮影データを対照しながら、修復前の形状、内部構造、材質、保存状態、文様や象嵌、製作技法などについての検討した。

## (2) デジタル台帳管理・検索システムの構築

### ① デジタル台帳管理・検索システムの構築

- X線撮影画像を格納するWEB台帳作成にあたり、長期的に活用され保存管理の基本となる台帳を目指して格納データや項目、レイアウト、操作性等について福岡県・宗像市・福津市・宗像大社の文化財担当職員（学芸員）および外部専門家と協議を重ねた。
- 既存のデジタルアーカイブス「MUNAKATA ARCHIVES」（H31年度地域文化財総合活用推進事業を活用して構築）の関係者用データベース「国宝管理台帳」を改修し、「金属製品デジタル台帳」管理・検索システムを構築した。

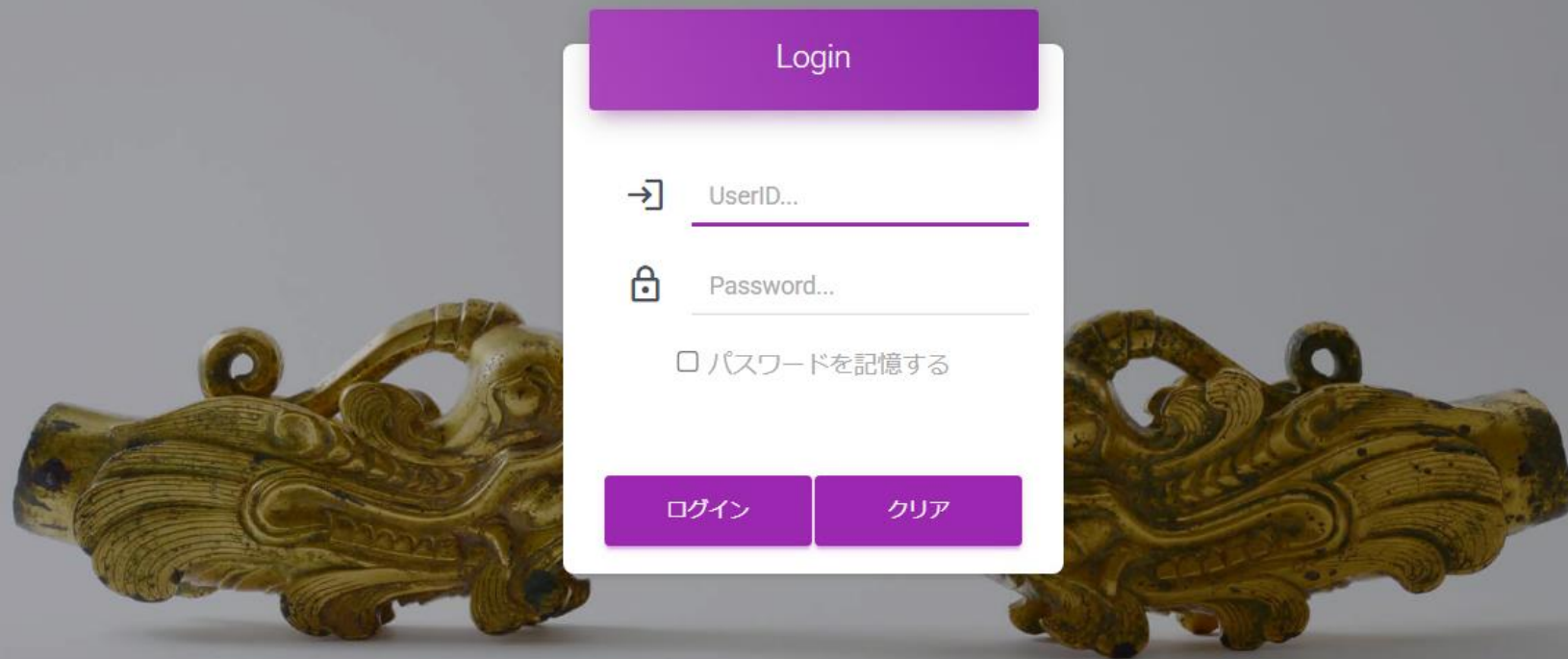
### ② デジタル台帳のマニュアル作成及び研修会の実施

- 金属製品デジタル台帳の取扱い習得のためのマニュアルを作成し、関係者が確実に操作を習得できるよう対面での研修会を実施した。
- 海の道むなかた館、宗像大社神宝館、大島交流館、カメラiasステージ歴史資料館および九州歴史資料館をはじめとする連携先5館、1団体の担当者11名が参加した。

### ③ デジタル台帳管理・検索システムデータの公開

- 金属製品デジタル台帳の基礎情報を、MUNAKATA ARCHIVESの「金属製品のX線画像」データベースとして一般に広く公開した。
- 本事業で作成した金属製品のX線画像データと合わせて基本情報が掲載され、これほどまとまったデータが公開されるのは初めてであり、研究者から一般の方まで幅広い活用が期待される。
- また、ジャパンサーチとの連携により、本遺産群の価値や魅力を国内外により広く発信できると考える。

## (2) デジタル台帳管理・検索システムの構築



The image shows a login interface overlaid on a background of two ornate, carved wooden figures. The login form is a white card with a purple header and footer. The header contains the word "Login" in white. The form has two input fields: "UserID..." with a key icon and "Password..." with a lock icon. Below the password field is a checkbox labeled "パスワードを記憶する". At the bottom are two purple buttons: "ログイン" and "クリア".

Login

→ UserID...

🔒 Password...

☐ パスワードを記憶する

ログイン      クリア

関係者用ログイン画面

貸出及び修理履歴の  
追加、閲覧が可能

個別資料（日本語） 個別資料（英語） 個別資料（中国語【繁体】） 個別資料（韓国語） 貸出・保存処理履歴

貸出履歴

< 前へ 1 次へ >

| 詳細                 | 状況 | 個別番号 | 貸出日        | 貸出先     | 返却日        |
|--------------------|----|------|------------|---------|------------|
| <a href="#">詳細</a> | 有り | 1    | 2015/05/26 | 九州国立博物館 | 2015/12/08 |

保存処理履歴

[戻る](#) [印刷プレビュー](#)

宗像アーカイブス（金属製品）

- [ダッシュボード](#)
- [検索画面](#)
- [タイムライン](#)
- [Sign out](#)

## 個別資料

個別資料（日本語） 個別資料（英語） 個別資料（中国語【繁体】） 個別資料（韓国語） 貸出・保存処理履歴



|      |                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 資料番号 | 8-6                                                                     |
| 個別番号 | 1                                                                       |
| 資料名  | 金銅製矛鞘                                                                   |
| 通称名  | 8号道跡                                                                    |
| 調査回数 |                                                                         |
| 時期   |                                                                         |
| 法量   | 長30.6,口全厚0.1,口全幅0.8,鞘口径3.1,匙れ部鞘径3.5,中央鞘径2.5,先端鞘径1.7（報告書記載）              |
| 指定項目 | 金属製品一括                                                                  |
| 報告書名 | 1                                                                       |
| 撮影年  | 0                                                                       |
| 撮影条件 |                                                                         |
| 事業名  |                                                                         |
| 注記   | 金銅銕鞘1口<br>I-p93 第28 図-12 図版第61-14<br>「内部に鉄矛が納まっている」<br>「口金と匙が銀製で、他は金銅製」 |

説明

本事業で撮影したX線写真の閲覧  
及び追加が可能。

### X線写真評価（保存状態）

| 状況 | 発言者 | コメント                                         | 投稿時刻             |
|----|-----|----------------------------------------------|------------------|
|    |     | <a href="#">詳細の詳細。内部に三角鉄式鉄針（金体に金装あり）が直存。</a> | 2025/02/13 13:07 |

[コメント](#)

### X線写真評価（価値）

| 状況 | 発言者 | コメント | 投稿時刻 |
|----|-----|------|------|
|----|-----|------|------|

[コメント](#)

保存状態や価値について、  
関係者がコメントを付す  
ことが可能。

[戻る](#)

[印刷プレビュー](#)

個別資料画面

## 金属製品のX線画像

本遺産群にかかる金属製品のX線画像データベースです。令和6年度Innovate MUSEUM事業では、宗像大社が所有する国宝沖ノ島出土品(福岡県宗像大社沖津宮宗祀遺跡出土品および福岡県宗像大社沖津宮宗祀遺跡出土品)のうち4000点を超える金属製品および宗像市・福津市の文化財資料をX線撮影して画像データを作成しました。今後の調査研究に寄与する事を目的として、本データベースでその成果を広く一般に公開します。なお、X線画像データの分析・検討については、令和7年度以降、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会で進めています。

キーワードを入力してください

検索

## 金属製品のX線画像 詳細検索

資料名

入力してください

遺構名

入力してください

資料番号

入力してください

法量

入力してください

個別番号

入力してください

説明

入力してください

検索

## 金属製品のX線画像 検索一覧



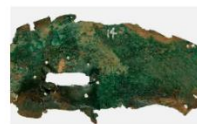
ヤス



ヤス



鞍金具 (6世紀)



鞍金具 (6世紀)



鞍金具 (6世紀)



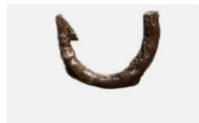
出土鉄剣 (5世紀末)



辻金具 (6世紀)



釣針 (6世紀)



釣針 (6世紀)



鉄製鋸 (6世紀)



鉄製鋸 (6世紀)

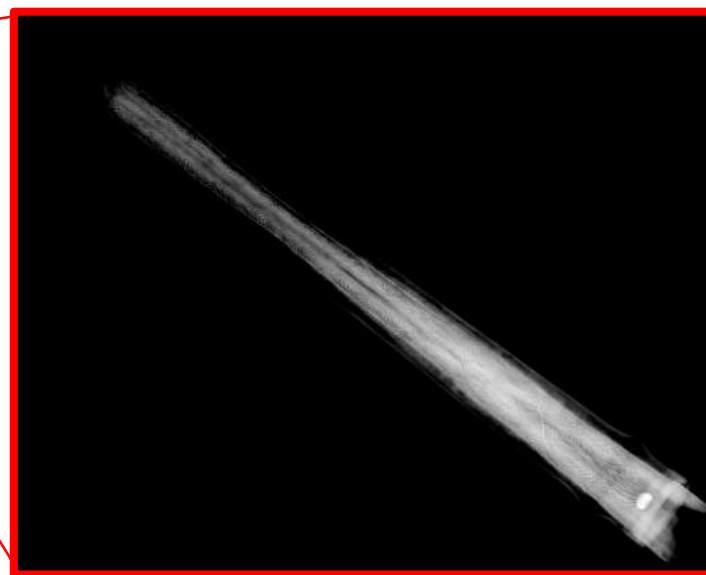


鉄製刀子 (5世紀末)

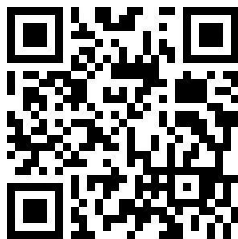
## 金属製品のX線画像



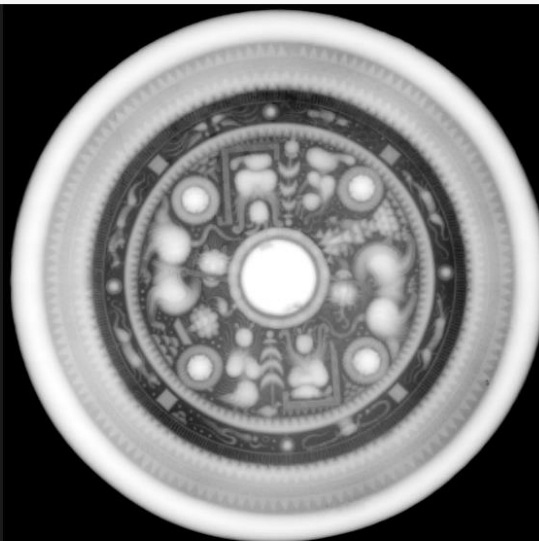
|      |                                                            |
|------|------------------------------------------------------------|
| 資料名  | 金銅製矛筈                                                      |
| 資料番号 | 8-6                                                        |
| 個別番号 | 1                                                          |
| 遺構名  | 8号遺跡                                                       |
| 法量   | 長30.6,口全厚0.1,口全幅0.8,鞘口径3.1,膨れ部鞘径3.5,中央鞘径2.5,先端鞘径1.7(報告書記載) |
| 説明   |                                                            |

[一覧へ戻る](#)[印刷する](#)

MUNAKATA ARCHIVES  
<https://www.munakata-archives.asia/>



一般利用者用画面 (MUNAKATA ARCHIVES)



## 世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群デジタル・アーカイブ(金属製品のX線画像)

[データベースを開く](#)

文化財

地域

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

本遺産群にかかる金属製品のX線画像データベースです。令和6年度Innovate MUSEUM事業では、宗像大社が所有する国宝沖ノ島出土品(福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品および伝福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品)のうち4000点を超える金属製品および宗像市・福津市の文化財資料をX線撮影して画像データを作成しました。今後の調査研究に寄与する事を目的として、本データベースでその成果を広く一般に公開します。なお、X線画像データの分析・検討については、令和7年度以降、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会で進めています。

JAPAN SEARCH

[https://jpsearch.go.jp/database/xm\\_okinoshima](https://jpsearch.go.jp/database/xm_okinoshima)

JAPAN SEARCH



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

宗像市, 日本

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は2017年世界遺産に登録されました。

+ フォロー



ストーリー

作品収集

素材と技法 場所 制作地

すべての83を表示



Google Arts & Culture

<https://artsandculture.google.com/partner/okinoshima-munakata-region?hl=ja>



次の場所

半円方形帯方格規矩鏡  
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会 4



鳥文線方格規矩鏡、内行八花文鏡と同じく、古墳時代前期の仿製鏡において最上級の仕上りを示す製品とされている。内区は方格とT・L・V形で区画され、漢文化した虎文や鳥文を表す。内区外周には、半円方形帯、鋸歯文の界線、樹文がめぐる。沖ノ島出土鏡群には、8号・16号・17号鏡などから出土した方格規矩鏡があわせて10面あり、漢鏡も含まれている。

Google Arts & Culture (奉獻品データベースと連携)

# 報告内容

---

1. 世界遺産の価値と課題
2. 事業目標
3. 事業内容
4. 事業成果と今後の展開

## (1) X線透過撮影

- 発掘調査から半世紀以上が経過して、経年劣化が心配される金属製品約4200点について、形状・構造や状態等を正確に把握し、修理・修復の優先度を明確化するとともに、今日的な水準での調査研究をおこなう基礎資料となるデータを作成することができた。

沖ノ島の金属製品4200点についてX線画像データが得られたことは、保存管理・調査研究上、大変重要な成果である。国宝に指定され、かつ、テグスで保存台に固定され調査が容易でない金属製品の基礎データが得られた事は、今後、調査研究に大変重要な成果をもたらすと期待される。



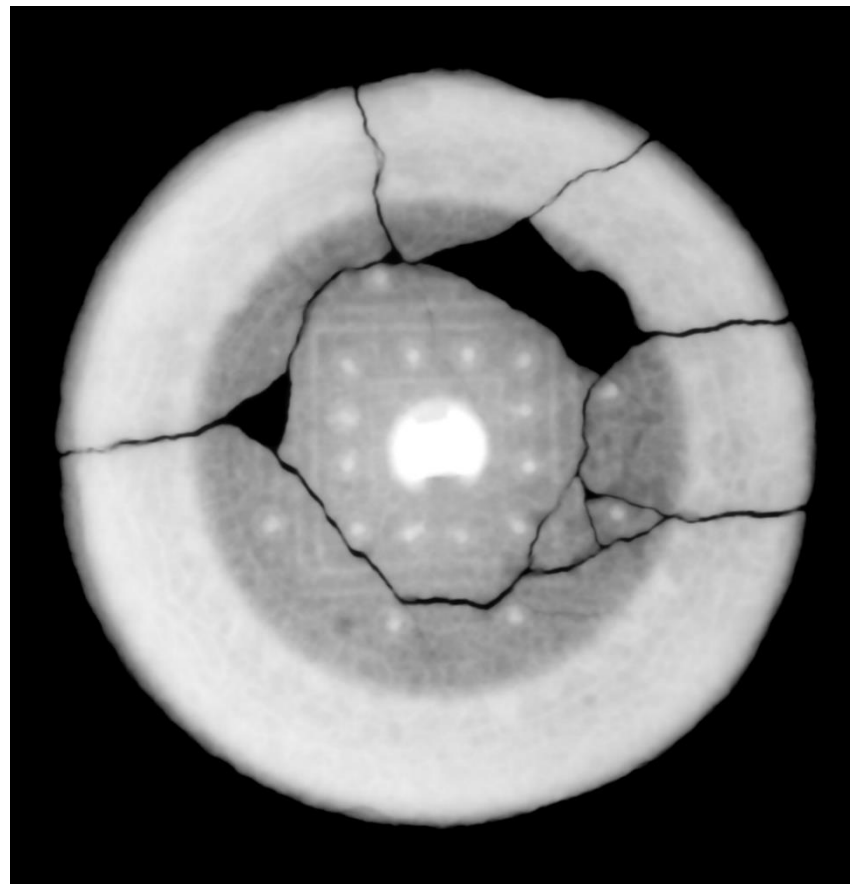
専門家の声



### 新たな発見

- ✓ これまで把握できていなかった構造や修理履歴を把握することができた！
- ✓ 沖ノ島8号遺跡出土「金銅製矛鞘」の内部に象嵌のある鉄鉾が残ることが新たに確認！
- 金銅製矛鞘は、学術調査を経て70年前に出土し、国宝としても既によく知られていたが、今回、最新の保存科学技術と考古学の進展により、鞘内部の鉄矛の形状とその象嵌の全貌を明らかにできた。
- 新しい研究手法やデータの解析によって得られた新知見は、博物館における収集保管機能により担保されるものであり、神宝館の意義は大きい。

(1) X線透過撮影



變形方格乳文鏡(複線波文帶方格鏡)

所蔵 宗像大社/撮影 元興寺文化財研究所



金銅製矛鞘（X線CT画像）

撮影 元興寺文化財研究所



金銅製矛鞘（X線CTを基にした三次元モデル）

作成 元興寺文化財研究所

## 事業成果の公表

### 各種報道機関による報道と、2館が連携した関連展示の実施

#### 国宝「金銅製矛鞘」 矛の全面に文様を施す技法使われる

06月10日 18時37分



古墳時代の祭事の跡に宗像市の沖ノ島でささげられた国宝の「金銅製矛鞘」（こんどうせいほこさや）について最新の分析装置で調べたところ、矛の全面に文様を施す技法が使われていたことが新たにわかりました。

専門家は、当時の大和政権が沖ノ島での祭事を重視していたことをうかがわせる発見だと指摘しています。

これは、県や宗像大社などが10日、共同で記者会見を開いて発表したものです。

国宝の「金銅製矛鞘」は古墳時代に沖ノ島の祭事でささげられたものでおよそ30センチの金銅製のさやの中に鉄の矛が収まった状態で見つかり昭和37年に国宝に指定されました。

昨年度、県や宗像大社などでつくる協議会がX線で撮影を行ったところ、さやの中の矛に「象眼」と呼ばれる地の素材に異なる素材を埋め込んで文様を作る技法が施されていることがわかりました。

これを受けて、有識者などを交えてさらに最新の分析装置で詳しく調べたところ、象眼は矛の全面に施され、金を埋め込んだとみられることなどがわかったということです。

NHK (<https://www3.nhk.or.jp/fukuoka-news/20250610/5010028503.html>)

#### 国宝「金銅製矛鞘」に象眼文様を確認 「海の正倉院」沖ノ島出土

社会 速報 福岡 九州・沖縄

毎日新聞 2025/6/10 22:14 (最終更新 6/10 22:14) 821文字

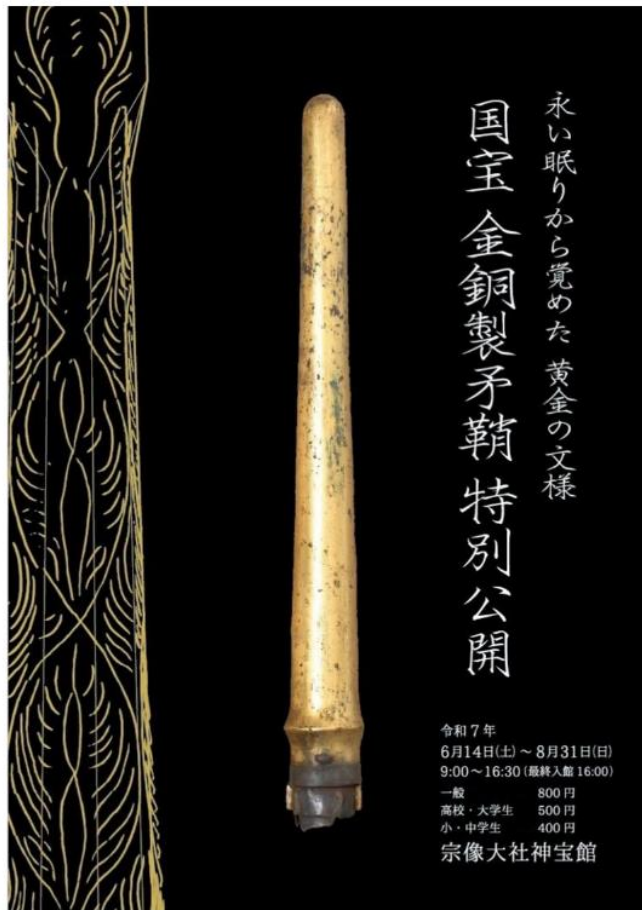


内部の鉄矛に象眼が確認された国宝「金銅製矛鞘」＝福岡県宗像市の宗像大社で2025年6月10日午後4時3分、高定寛撮影

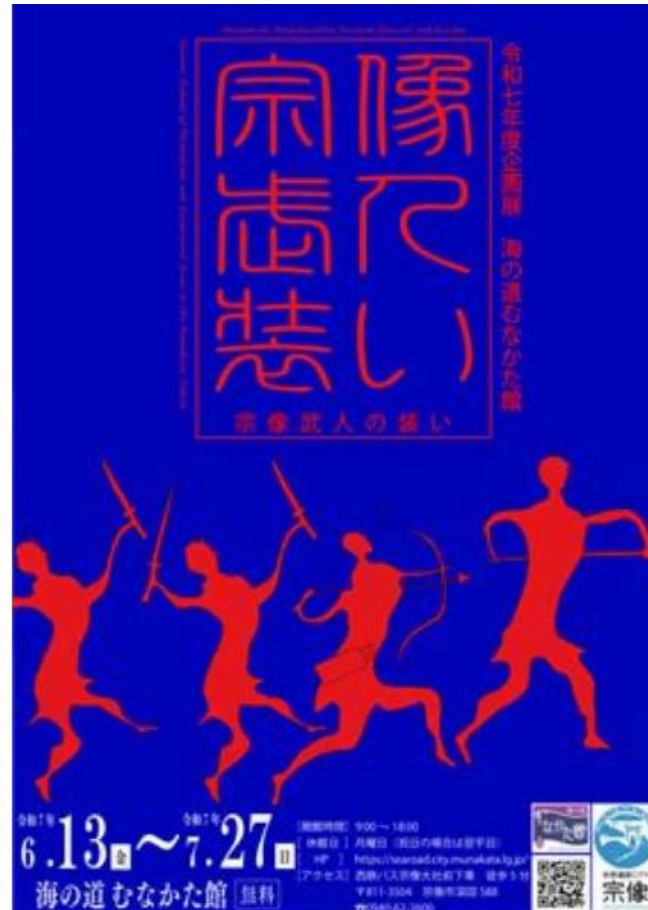
写真一覧

古代に国家的祭祀（さいし）が営まれた世界遺産・沖ノ島（福岡県宗像市）から出土した奉獻品の矛の鞘（さや）、国宝「金銅製矛鞘」に収められた鉄矛の全面に、象眼の文様が施されていることが確認された。県や市などによる遺産群保存活用協議会が10日発表した。古墳時代の6世紀後半から7世紀初頭に製造されたとみられ、象眼が全面に施された鉄矛は国内外で類例がないという。製造にはヤマト王権が関わったと考えられ、沖ノ島での祭祀を王権が長期にわたり重要視していたことを示す。

沖ノ島では、大陸への航海の安全を祈る国家祭祀が4世紀後半から9世紀末まで続いた。その後倭寇や入島を厳しく制限する慣習で、島はほぼ手つかずの状態で守られてきた。1954年から実施された3次の学術調査などで奉獻品約8万点が出土。全て国宝に指定され、島は「海の正倉院」と呼ばれている。



宗像大社神宝館



海の道むなかた館

#### 毎日新聞

(<https://mainichi.jp/articles/20250610/k00/00m/040/332000c>)

## (2) デジタル台帳管理・検索システムの構築

- 博物館DXの取組みを推進するためのデジタル台帳の作成及び取扱マニュアルを整備し、研修を実施した。
- これにより、福岡県及び宗像市・福津市・宗像大社の担当学芸員や文化財担当職員が博物館のデジタルアーカイブの活用と一層の充実に取り組む体制を整備できた。

デジタルの台帳で管理されることにより、X線画像にアクセスしやすく、活用しやすい。また、同時に出土品の基礎情報が閲覧でき、個別情報を確認する手間が省けることから、業務時間の短縮や効率化につながることが期待できる。さらに、本遺産群に関連する金属製品の情報が同じデータベースに格納されていることから、情報収集が容易になり、横断的な調査研究が気軽に行える環境が整った。また、関係者用のデータベースで連携体制が整ったことで、今後、専門家や関係者と横断的な連携を組めると期待している。



担当者の声



### 成果と今後の展望

- ✓ デジタル台帳の整備と共有による担当者の連携強化。
- ✓ 担当者の情報収集が容易になったことにより、横断的な調査研究の発展が期待。

### (3) デジタル台帳管理・検索システムデータの公開

- 金属製品デジタル台帳の基礎情報を、MUNAKATA ARCHIVESの「金属製品のX線画像」データベースとして一般に広く公開した。
- また、ジャパンサーチとの連携により、本遺産群の価値や魅力を国内外により広く発信できると考える。

これまで沖ノ島の個別の奉獻品に関する情報を得るのは容易でなかったが、4000点を超える金属製品のデータが簡単に検索・閲覧できるようになり、驚愕している。今回新たに多くの情報が公開され、8万点の国宝というのがいかに膨大であるか再認できる。非常に意義深く、これからの調査研究の裾野が広がり、飛躍的に進むのではないかと予想される。



研究者の声



#### 成果と今後の展望

- ✓ デジタル台帳の公開により奉獻品に関する情報に容易にアクセスできるようになった。
- ✓ 調査研究の裾野が広がり、調査研究の比較的な発展を期待。

# 更なるミュージアムDXの実現に向けて



DXの実現とそのプロセス

出典：文化庁（2025）ミュージアムDX実践ガイド

- 保管する資料の歴史的意義や学術的価値を高めるための調査研究は、博物館活動の根幹を成すものである。
- また、資料情報と研究成果を広く発信し、研究者のみならず広く国民が利用できる体制と環境を整備することは、博物館の基本的機能でもある。
- 神宝館をはじめ宗像・福津の博物館、ガイダンス施設は、資料を安定的に保管し、公開するのみならず、最先端の調査研究拠点として、その価値を今後も発信し、多様化・高度化する博物館への期待に応えていく。

なお、X線画像データの分析・検討については、令和7年度以降、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会が中心となり進める。



デジタル資料を活用した国際的・学際的な調査研究による新しい価値の発見・発信



デジタル台帳化による横断的な連携体制の構築



金属製品4200点のX線撮影・デジタル化